

平成29年度

ほおの木っ子

喜多方市立第二小学校 学校だより
平成30年2月14日(水) 第15号
発行責任者 校長 石田 秀喜

〈笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・コツコツがコツ!~〉

「しつけ」と「おしつけ」

「おはようございまーす!」当たり前のようにいつもさわやかな笑顔であいさつをしてくれる子どもがいます。箸を正しく持ち、姿勢よく給食を食べている子ども、人をほっとさせる言葉づかいができる子ども、履き物を忘れずにそろえられる子ども、ほうきを上手に使いこなしてそうじをしている子ども……。本校で、そんな子どもたちの姿をたくさん見かけます。そのたびに、「この子は、今まで素晴らしいしつけを受け、それをきちんと自分のものとして身につけて育っているんだなあ」と感心しています。



そんな折、コンビニのおでんを笑いながらつついている動画をネットに流した2児の父親の姿が以前報じられていました。この人は、何か大事なことを身につけないままに歳を重ねてきてしまった人のように思いました。

子どものしたいようにさせることが、「個性を大事にする」「のびのびと育てる」ということではありません。また、わが子の成長を思うあまり、あれやこれやと子どもにできそうもないことを一方的に求めてしまうこともあまり効果的ではありません。

いずれにしても、人とかかわりながら社会の中で生活していく上で必要なことは、きちんとしつけていきたいものです。(もちろん、本校の保護者の皆さんはすでにされています。)

とはいえ、思うようにいかないのも現実です。どうして大事なのを教え、やろうとしている姿を見逃さずほめ、言われなくてもできるようになったら認めてあげる。根負けや妥協せず、時には「おしつけ」するくらいの厳しさも必要です。ただし、おとなの都合であれこれ強制するような「押し付け」にはならないよう気をつけたいものです。



なわとび ~励まし合いの大合唱~



冬期間の体力向上に向け、現在子どもたちはなわとびに取り組んでいます。連日、子どもたちのなわとび練習の歓声が聞こえてきます。短縄、長縄を使った運動は、この時期に最適です。チームをつくって長縄跳びをする子どもたちの掛け声、励まし合いが校舎に響きます。とても心地よい響きです。来週からはなわとび記録会週間です。長縄跳び大会もあります。

大会に向け、目標を持ちレベルアップをしようと励む時期、大会が終わって結果を受け止め次なる活動を進めていく時期、どちらも個々の体力づくりと同時に学級づくりにもってこいです。みんなの心が一つになって、記録を更新する喜びを味わって欲しいものです。

インフルエンザ情報 (2/1~2/14)

2/1(木)	2/2(金)	2/5(月)	2/6(火)	2/7(水)	2/8(木)	2/9(金)	2/13(火)	2/14(水)
20名	33名	24名	14名	12名	23名	23名	15名	14名

今年のインフルエンザの特徴として、A型とB型が同時に流行していることと、インフルエンザに罹っていても高熱などの強い症状が出ない「隠れインフルエンザ」が多いことが挙げられます。各ご家庭におかれましても、これまで同様、予防に万全を期すとともに、体調がすぐれないときは、無理に登校させず、十分休養を取らせるようにしてください。